

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。

鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466

HP 原八郎

検索



今月号の項目

一、三月定例議会
議案二十八件全て可決

二、三月議会一般質問

① 五年、一〇年後の市の姿
財政的に余裕のできた今、
何をなすべきか

② 公共下水道の普及と見通し

③ 保育園、待機児童〇を目指す
五年後、十年後の見通しは

④ 自転車事故について

自転車保険について

自転車の歩道走行と危険性

三、乳幼児の子育ての大切さ

四、認知症予防教室に補助金

五、第七回グランドゴルフ大会
二月三日開催 七十八名参加

六、十二年間の政治活動の成果

七、原八郎のルーツ「歩」三十六回
(幻の茸「たもぎ茸」の美味)

市政報告会のお知らせ

四月十二日(日) 十三時

中央公民館三階 学習室四

(ヨールカ堂の上三階左側)

市の財政状況、今後の政策 他
どなたでも参加歓迎します。
後援会会員募集。
応援スタッフ募集 連絡請う。

一、三月定例議会

補正予算、二七年度予算を含め全て可決。

二、三月議会一般質問

①「後期基本計画第三次実施計画」

五年間の総事業費二百二十八億円。行政
評価における優先度判断に基づき、事業の
「選択と集中」を行いつつ、各種基金も活
用して市民サービスに還元することで策定
した。

道路の整備、管理に重点を置く施策を強
く要望。道路の揺れ、歩道の整備、大型車
の交通規制の徹底等。

②公共下水道の普及と見通し

公共下水道普及率六〇%。未整備区域四
四〇%。完了まで四〇年。工事が完成し、
供用開始が何時になるかの情報をこまめに
知らせるべきであり、市民の人生設計を立
てるために重要であることを、強く主張。

③保育園、待機児童の現状と、
今後の見通しを問う。

五年後も待機児童の解消の実現見込む。
三歳児未満定員を約七〇〇名。少子化対策
がうまくいかない社会、民間保育園を誘致
し、待機児童〇を目指す、将来定員割れ
をして、保育園の破綻の危険性はないのか
心配です。

④自転車事故について

自転車事故が多発し、過去三年間に四八
八件発生。自損事故が二%。自転車相
手にケガをさせた事故は一六件。賠償問題
が発生。兵庫県では自転車事故の賠償問題
で、自転車に保険を掛けるよう指導。高額
の賠償命令の出た判決が相次ぎ、保険に頼
ろうとの判断。

皆様、個人賠償保険に加入していますか。
個人賠償加入は年齢制限があります。損害保
険の特約で個人賠償責任保険に加入できま
す。是非加入してください。万が一の為。自
転車の整備時のTSマーク付帯保険もありま
す。毎年整備してもらいTSマーク付帯保
険に加入しなければなりません。保険加入の
啓蒙をするのと同時に、自転車の走行が安全に、
快適に乗れるよう道路整備、歩道整備をして
いくよう強く要望。

三、乳幼児、子育ての大切さ

誕生した赤ちゃんが健康で健やかに成長す
ることを誰もが願っています。溢れんばかり
の愛情が赤ちゃんには必要なのです。

生まれたばかりの赤ちゃんの脳細胞の重さ
は、平均三五〇gです。三歳までに一二〇〇
gまで発達します。二〇歳で一五〇〇g。八
割は乳幼児期に発達します。幼児期の子育て
が大切で重要です。たっぷりの愛情が必要な
のです。「眼窩前頭皮質」はこの時期しか発
達しません。情報を総合判断する前頭葉に伝
達する役目をするのが、眼窩前頭皮質なので
す。未発達ですと正しい情報は伝わらず、間
違いを起したりします。

母子手帳の副読本に子育てに、「添い寝、
抱っこ、おんぶ、おっぱい」はほどほどにと
昭和四〇年から書かれていました。ユニセフ
が二〇〇一年発表の子供白書で「添い寝、お
んぶ、抱っこ、おっぱい」は大切ですよ、と
指摘。厚生労働省は二〇〇五年に、母子手帳
の副読本の内容を訂正し、乳幼児の子育てで、
スキンシップを始め、愛情をたっぷり注ぐこ
とが大事であることを推奨するようになりま
した。四〇年間も間違っていた子育てを推奨して
きたわけです。社会に適応できず、問題を起
こす大人たちや少年たちは、乳幼児期の愛情
不足がその要因かもしれません。

愛情をたっぷりかけ、子育てをしましょう。
しつけは四歳からで間に合います。乳幼児期
の子育ての大切さを知っていただくための啓
蒙活動をこれからも続けてまいります。いつ
でも説明に伺いますので連絡ください。
原八郎迄

はら はちろう

原 八郎

鎌ヶ谷市議会議員
都市・市民生活常任委員会委員長
会派 政友会

原八郎後援会事務局 政策論議をしませんか。お気軽にご相談ください。

鎌ヶ谷市道野辺本町1-11-8 ☎445-3466

HP 原八郎

検索



四、認知症予防教室に教材の一部補助金が出るようになりました。

「脳トレいきいきサロン」の認知症予防教室では簡単な読み・書き・計算の学習を日常生活の中に習慣づけてもらうことを目的としています。週に一回来ていただき、三〇分程度学習をし、残りの六日間は自宅で学習します。毎日、音読三枚、簡単な計算三枚を習慣的にしていただきます。一か月に一八〇枚の教材が必要になります。その教材費の一部を市が負担してくれることになりました。

白井市のように全部補助していただけるよう、これから要望してまいります。四月から十一年目を迎えます。全国に先駆けて鎌ヶ谷で始めた教室です。全国で、一七〇程の自治体で教室を開いています。教材の補助のないのは鎌ヶ谷市だけでした。

受講者を始め、有識者の皆様の意見もやっとな行政に届き、今回の決定となりました。初めの第一歩と感謝しています。補助額は三十万円です。教材費は月額二千五百円です。内五百円程の補助。現在七十人ほどの学習者がいます。経済的に余裕のある高齢者は問題ないのですが、国民年金で生活している方は、意欲があっても続けられず辞めてしまうケースがあります。予防のための予算の使い方を検討していただきたいと思っています。

全国平均、六五歳以上の高齢者の一五％は認知症ですが、鎌ヶ谷市は六％です。日本が一番少ないのではないのでしょうか。私が十一年前に学習療法を知り、鎌ヶ谷に導入いたしました。認知症患者の少ない街を目指そうと、ボランティアの方々をお願いし、開設して満十年になりました。市から教材費の補助も出ることから、受講者も今後増えて、サポーターが不足ぎみです。お手伝いして頂けませんでしょうか。ご連絡先 四四三・二五一七 小林会長

五、第七回グランドゴルフ大会開催

二月三日(水)順延開催、参加者七八名、大盛況の大会でした。

六、十二年間の政治活動の成果

「応援の声」

原さんの十二年間における政治活動は数々の成果を上げられ、鎌ヶ谷市発展のために最善を尽くされました。今後、安心して暮らせる、生きがいのある街づくりへ、市民協働の全力投球を期待しています。原八郎後援会一同

詳細は討議資料か、ホームページ参照「原八郎」で検索。

① 予防医療・予防介護の施策

医療費の削減に寄与

② 認知症予防 学習療法導入

「脳トレいきいきサロン」一〇周年 予防事業の効果が顕著です。

③ 乳幼児の子育ての大切さ

「眼窩前頭皮質」成長の重要性を啓蒙。乳幼児期の愛情や、スキンシップ、つまり「添い寝・おんぶ・だっこ・おっぱい」が大切なのです。『三つ子の魂百まで』と言われるものです。

④ 船取線の歩道、改良整備

歩道の真ん中の電柱を移動等。車椅子が通れない歩道を改善等。

⑤ スポーツ施設の増設や整備

⑥ 市民ポストの設置

⑦ ジェネリック医薬品の普及

⑧ 分水嶺(界)モニタメント作成

⑨ 職員の地域手当の削減

平成十八年の財政危機で私が取り組んだ財政改革の一つです。給与と別に支給されていた地域手当を一〇％から七％に二段階に分けて三％削減。十九年度九％、県指定の七％に二十一年度に下げました。年間合計、一億二千万円の人件費を節減できていくことになりました。

公務員の地域手当とは、どんなものかご存知でしょうか。給与の他に支給されている特異な手当です。昔は調整手当と言われたものです。民間企業との賃金格差を解消し、善き人材を集める目的で捻り出したものです。今は逆転し公務員の方が高くなり、調整手当の名前が使えなくなり、地域手当と名前を変え、今も存続しています。

⑩ 教材等購入、入札制度見直し

⑪ 委員会、審議会の委員兼任数制限

⑫ 学校給食費未払い七割解消

簡易裁判の活用を提案。

「歩み」原八郎のルーツ 第三十六回 幻の茸「たもぎ茸の美味」

幻の魚「おしよこま」の話に続き、絶品の味「たもぎ茸」を紹介いたします。北海道層雲峡でレンタサイクルを営業している時の話です。

昭和四十五年から八年にかけて、秋にアイヌのお爺さんから分けてもらった黄色い茸で、直径五センチの柔らかいものでした。水洗いし、お湯を沸かし、たもぎ茸を入れ、みそを溶いた味噌汁です。だしや調味料は一切いりません。茸から出る、例えようのない、ふくよかな深い味でした。歯ごたえも程よく、まさに絶品でした。

プロ野球で使うバットの材質がたもぎ茸の木です。大木になる落葉樹で、風倒木から茸が生えてくるそうです。アイヌのおじい様も少ししか収穫が出来ないそうで、ごすかい稼ぎに決して生えている所は人に教えないとのことでした。おじい様の言いなりの金額を支払い、頂きました。四十九年からはおじい様の姿は見られず、食べることが出来ませんでした。隣の比布町で「なめこやシメジ、シイタケ」を栽培する工場で「たもぎ茸」も少し生産しているとの情報を聞き、取り寄せて食べてみました。味は別物でした。天然ものの貴重な味を楽しませてくれたお爺様には忘れられない味を経験させていただき、感謝です。もう一度味わってみたい味です。

北海道の山奥に行けば味わえることがあるだろうか。秋に大雪山の紅葉を見ながら、たもぎ茸に逢えたらいいなと思つて、いつか旅行してみたいと思います。